

## 「脳血管障がい者への復職支援」研修会報告

平成24年11月19日(土)に神奈川県リハビリテーション支援センター主催による『脳血管障がい者への復職支援』研修が開催されました。

冒頭に七沢リハビリテーション病院脳血管センター 医療福祉総合相談室の永野正之氏より、医療保険制度や公的年金、雇用保険に関する基礎知識や活用のテクニックについてユーモアを交えながらわかりやすくお話しいただきました。

その後、当職能科の泉より脳血管障がい者への復職支援をテーマに講義。障がい者雇用に関する法的な背景や支援機関の紹介、助成金などの説明から始まり、復職支援の具体的な流れやポイント、機関連携の必要性など支援のノウハウを説明致しました。

昼の休憩を挟み、場所を職能科訓練室に移し、実際に職能科で使用している訓練教材の体験。慌ただしい体験会でしたが、関心を寄せていただけたようでした。

再び研修室に移動して、北原国際病院の峯尾舞氏による作業療法士としてどのように就労支援を行ってきたのか、事業の紹介とともに事例を交えながらお話しいただきました。作業療法士からの視点とこれまでの経験に基づいたお話に、出席者の皆様もうなずき、興味深く聞き入っておりました。

一日の最後は、グループでの事例検討。異なる職種のみなさんが一つの事例について真剣に討議をされ、支援計画を作成されていました。みなさん積極的に意見交換され、短時間で仕上げたとは思えないほどの出来栄え。それぞれの視点を盛り込み、まとめ上げた内容を発表して頂きました。

昨年末に労災病院を中心に「脳卒中の復職支援とリハシステム」という復職をテーマとしたガイドブックがまとめられました。これには労災病院のOT、PT、STの方が多く協力されており、そういった動きの中で脳血管障がいの方への就労支援に対する意識も少しずつ変化してきているのでしょうか、今回の研修会にもOT・PTをはじめとする病院関係者の方にご参加いただきましたが、みな様の熱意が感じられました。今後それぞれの職場で少しでも活かされればと思います。(今野 政美)



写真1 講義風景



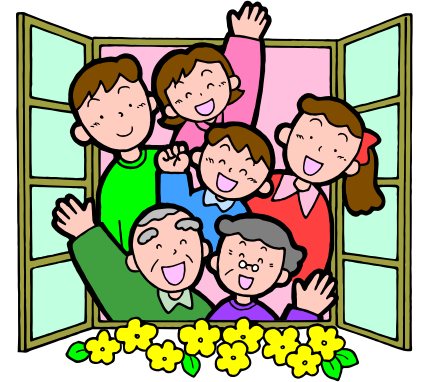
写真2 グループでの事例検討

# 高次脳機能障がい外来患者の相談

職能科には毎年 90 名あまりの方が新しく外来を利用して支援を受けています。今回は特に地域生活を送っていた方が職能科を利用する際の相談について、ご紹介します。

まずは起床就寝時間、家事の役割、外出などの生活リズムの作り方、身体的、神経的な疲れなどについてお聞きします。次は病気やケガ以前と比べて変わった点をお伺いします。最後にお仕事のお話です。ご家族からも同様の話を伺い、今後の生活や仕事をどのように考えているのか、そして高次脳機能障がいの影響や捉え方にご本人との違いはあるのかなどをチェックします。

地域生活・就労支援には自己決定への支援が必要です。このため、社会リハビリテーションや、生活の中での高次脳機能障がいの理解の進み方などを確認し、安定した地域・職業生活が送れるように支援を進めます。(泉 忠彦)



## 平成 24 年度就労支援の実績

職場内リハビリテーション実施人数	
2012年10月の人数	2名
2011年4月からの累計人数	7名

就職・復職者の人数		
2012年10月の 就職・復職者	新規就労	—
	復職	1名
2012年4月からの累計	新規就労	8名
	復職	15名

## 七沢学園就労移行支援 受注作業物語 2012 年秋



写真 3 受注作業

数ある他社の作業には見向きもせず、定期で納品、安定した収入♡、就労移行支援の作業課題として設定しやすい会社様の作業に、室内作業の大半の仕事に移行を決めていたのに、「来春より商品の形態が変わり、受注の仕事が出せなくなってしまった」と、お話をされたのが、今年の暮れ…。(今までありがとうございました。(ToT)/~)

すると、定期納品の仕事が無くなる＝定期収入が無くなる現実に直面！

パソコン・ブラケットフック・空き缶・農芸はどれも納品が不定期。作業報奨金は、良くて今までと同じか少ない位。

しかーし、ここでめげている訳にはいきません！

最近ちょびっとさびしい空き缶回収

(あっ！すみませんご協力お願い致します。m(\_\_)m)

パソコンの作業量・納品の回数を増やし、電子部品の組み立て始めました！

無農薬でとてもおいしい野菜！いつもお買い上げありがとうございます。

そして何よりもここには作業を厭わず頑張ってくれている就労移行支援の利用者の皆様があります。元気に働く皆様に力強さを感じます。そして、まだ作業実績を高めていけそうな手ごたえを感じています。これからも応援よろしくお願い致します。(山本和夫)